

言語科学 研究科 言語学 専攻（博士前期・日本語教育学コース）

試験科目：（ 専門科目 ） 試験時間：（ 90分 ）

1. 次は日本語の初級クラスでの学習者同士の会話である。下線部がなぜ不自然なのかを説明し、この学習者に対してどのような指導が必要か述べなさい。

A: Bさんは明日のパーティーに行きますか。

B: はい、そうです。Aさんも行きますか。

言語科学 研究科 言語学 専攻（博士前期・日本語教育学コース）

試験科目：（ 専門科目 ） 試験時間：（ 90分 ）

2. 第二言語習得における否定的フィードバックの役割を論じなさい。また、否定的フィードバックの種類をあげ、それぞれがどんな学習の文脈において有効なのかを論じなさい。

言語科学 研究科 言語学 専攻（博士前期・日本語教育学コース）

試験科目：（ 専門科目 ） 試験時間：（ 90分 ）

3. 日本語中級クラスにおける、トップダウン・ボトムアップの両モデルを意識した読解活動の意義を述べなさい。また、それをふまえた読解活動の工夫について、自由に論じなさい。

※ P4, 5は解答用紙のため非公開

2026年度大学院入試問題（2026年2月15日実施） ページ 1/5 ページ中

言語科学 研究科 言語学 専攻（博士前期・日本語教育学コース）

試験科目：（ 英 語 ） 試験時間：（ 60分 ）

次の英文を読んで、日本語 600～800 字で要約しなさい。

（受験番号 ）

（“An introduction to applied linguistics”, third edition, edited by N.Schmitt &
M. P. H. Rodgers. Routledge.）